



施政方針演説する田村市長

明るい未来実現のため 市政を推進

平成31年市議会第1回定例会 施政方針

平成31年市議会第1回定例会は、2月21日から3月18日まで、市議会議事堂議場で開かれました。議会初日には、田村正彦市長が31年度の施政方針について述べました。その一部を抜粋して紹介します。

W杯ジャンプ男子個人に出場している本市出身の小林陵侖選手の活躍に、スポーツを通じたまちの盛り上がりを感じています。一方で、大規模な災害が全国各地で発生し、改めて住民の暮らしを守る災害対策の重要性を認識しました。平成から新たな元号となる今年、消費税率の引き上げが予定されるなど、社会環境が変わる年でもあります。明るい未来の一步を踏み出せる年となるよう市政を推進していきます。31年度は、第2次市総合計画前期基本計画の終盤期に入る4年目の年です。施策の成果を検証しつつ、計画に掲げる政策・施策を着実に実行していきます。これからも、市民の皆さまの負託に応えるため、市政運営に全身全霊を注ぎ、取り組んでいきます。以下、主な施策と主要事業の概要を第2次市総合計画基本構想の基本目標に沿って、申し上げます。

1. 未来への希望にもえるまちづくり
八幡平市に住んで良かったと思えるまちづくりを目指し、子育て支援、移住・定住の促進を積極的に進めるとともに、持続可能な地域コミュニティの形成のために、2つの施策に取り組んでいきます。

①住んでいあわせを感じるまちづくり
▼定住対策 お試し居住事業「さすらい合宿」などの事業に引き続き取り組んでいきます。また、関係人口とのつながりを継続していくため「丸の内プラチナ大学八幡平分校」やふるさと納税寄付者を対象とした市訪問ツアーを行っていきます。
▼空き家バンク 八幡平市空き家バンクを周知し、空き家所有者の登録を促すとともに居住希望者に情報提供し、定住の促進に取り組んでいきます。



馬を活用した事業に携わる元地域おこし協力隊員の阿部文子さん

▼地域おこし協力隊 退任した3人の定住・定着に向けた起業支援などに取り組むとともに、隊員の熱意と経験を生かした活動を支援していきます。



市内初で4月に開所した家庭的保育事業まいろはうす

②安心して子育てができるまちづくり
▼保育 私立保育園の保育士を確保し、待機児童を解消するため、宿舍の借り上げや奨学金の返還を支援していきます。松野保育所と寄木保育所の統合・新築は、検討結果を踏まえて実施設計や用地造成などを進めていきます。新たに開所した家庭的保育事業所の運営費の一部を補助し、運営を支援していきます。

2. じもと学び動き、暮らし豊かなまちづくり

「農と輝の大地」の実現に向け、農林業・観光などの産業振興を図り、地域経済の発展による就業人口の定着と持続可能なまちづくりのため、5つの施策に取り組んでいきます。

①産業基盤として持続する農業の推進
▼米の作付け振興 関係機関と協力しながら、売れるコマ作りに取り組んでいきます。飼料用米や高収益作物への転換を促し、農家の所得向上に努めていきます。
▼農地の集積 農業委員や農地利用最適化推進委員と協力しながら農地中間管理事業を活用し、集落営農法人や大規模家族経営農家への農地集積に取り組んでいきます。
▼新規就農者支援 市単独事業の新規就農等支援事業や国の農業次世代人材投資事業を活用して就農を支援していきます。就農を希望する市外の人には、空き家バンクを活用し、就農につなげていきます。
▼担い手育成 市単独事業の「農の大地担い手育成支援事業」が3年目となることから、担い手農家からの要望や活用状況を検証し、今後の事業の在り方を検討します。
▼園芸振興 振興作物の生産規模維持・拡大のため、農作業の省力化と生産性の向上を、関係機関の協力のもとに進めていきます。JA新しいわてが進める農作物の生産規模拡大のための事業を支援していきます。
▼花き振興 リンドウの赤花鉢物品種の登録申請を予定。今後も品種開発に努め、JA新しいわて八幡平花卉生産部会が目指す販売額15億円達成に向けて支援していきます。また、海外生産者の生産状況などを視察し、適切なアドバイスを行いながら、海外におけるブランド力をさらに高めていきます。
▼農業農村整備 後藤川地区ほ場の早期整備を進めるとともに、安代地区のほ場整備事業化に向け、関係機関と連携して取り組んでいきます。
▼畜産振興 酪農・肉用牛の生産基盤を強化するため、繁殖育成センターの整備に取り組んでいきます。
②おもてなしの観光による交流人口の増加
▼十和田八幡平国立公園 「国立公園満喫プロジェクト」に選定され、ブランド化を図るための事業に取り組んでいきます。引き続き関係機関と連携し、八幡平ドラゴンアイなどの新たな観光資源の磨き上げに取り組む、観光振興を進めていきます。
▼外国人旅行者の誘客（インバウンド） 増加傾向にある外国人旅行者（タイ王国・中国・台湾を中心としたアジア地域やオーストラリアなど）の誘客を、株式会社八幡平DMOや近隣空港と連携して積極的に進めていきます。
▼観光客（国内）の誘客 ラグビートップリーグチームの合宿誘致や観戦ツアーの開催、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、より一層の観光客の誘客に取り組んでいきます。

③地元企業の発展と企業誘致の推進
▼工業振興 企業の設備投資と雇用の拡大に取り組む事業者を支援するほか、新規立地の促進に取り組んでいきます。
▼起業支援 貸工場への入居支援をはじめ、関係機関と連携し、2次展開へ向けた物件紹介などの支援をしていきます。
▼起業志士プロジェクト 昨年度に3社が企業立地協定の締結に至りました。全国から若者を募って技術講習を行い、起業に向けた支援をしていきます。



起業志士プロジェクトの事業が実現を結び企業立地協定締結へ

▼安比塗 安代漆工技術研究センターで技術者育成に努めていきます。また、安比塗企業組合と連携し、漆器産業の振興を図っていきます。
▼商業振興 大更駅前顔づくり施設の具体化に向けて、にぎわいづくりを進めていきます。
▼担い手育成 市商工会が行う事業に対し、新たに補助金を交付し、労働力確保に向けた取り組みを支援していきます。また、空き店舗を活用して新規出店する支援事業を新設します。
▼山林の保全と林業の活性化 林業振興 林業新規就業者対策事業を行い、担い手確保を支援していきます。

3. 心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり

健康に暮らすということは、かけがえない財産です。健康で長生きできるまちづくりや次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかで活動できるまちづくり実現のため、7つの施策に取り組んでいきます。

①心も体も健やかに暮らせるまちづくり

▼生活習慣病予防健診 受診環境の整備を進めるほか、受診後の指導にも重点を置き、発症と重症化予防に取り組んでいきます。

▼働き盛り世代憂たきり防止

脳ドック受診対象者への助成や、30歳から39歳の国民健康保険加入者を対象に基本健診を継続して行っています。

▼予防接種 風疹予防接種の追加的対策として、国の指針に基づき予防接種を行います。高齢者肺炎球菌感染症予防接種も国の指針に基づき、未接種で65歳から5歳刻みの年齢に当たる人を対象に行います。

▼新生児聴覚検査 本年度から、全ての新生児の聴覚検査費用について、3000円を上限に一部公費負担します。

②元気に長生き高齢社会の実現

▼高齢者等温泉館 七時雨憩の湯に遠赤外線サウナを、綿帽子温泉館にエアコンを設置します。

▼介護予防事業 介護支援ボランティアポイントモデル事業を柏台小学校区域で行い、高齢者の社会参加活動を通じた介護予防を進めていきます。

③地域を見守る福祉の推進

▼生活保護 適切な保護を行うとともに、受給者の就労支援や自立を促進していきます。

④安心できる医療の充実

▼国民健康保険 糖尿病性腎症重症化予防事業などの保健事業を進め、医療費の適正化と制度の安定に努めていきます。

▼西根病院の運営 変化する医療環境や多様な医療ニーズに迅速かつ柔軟に対応していきます。

▼生涯学習 各コミュニティセンターと連携し、学習機会の提供に努めていきます。

▼芸術文化振興 関係団体と連携し、市民の芸術文化の振興を図っていきます。

▼文化財保護の事務を教育委員会から市長部局に移管し、文化財の活用を図っていきます。

5. ふれあいを大切に、人情あふれるまちづくり

地域コミュニティのつながりを大切にするとともに、地域と行政が相互に協力・協調する協働のまちづくりを引き続き進め、地域に住む住民のぬくもりが感じられるまちづくりを目指していきます。

▼コミュニティセンター 各地区公民館がコミュニティセンターに移行して5年が経過し、地域活動や地域住民の交流の場として定着してきました。

地域を活性化させる拠点として、さらなる活動の充実・発展のため、その活動を支援していきます。



多くの人が訪れた安代地区コミュニティ文化祭

まちづくりの目標を支える社会基盤の整備と行政経営の方針

5つのまちづくり目標に向けた各種施策のほか、社会基盤・生活基盤の整備を図るとともに、行政改革や広域連携による行政運営に努めていきます。

▼都市計画 大更駅前線沿道整備土地区画整理事業や大更駅西口駅前広場整備事業を引き続き行っています。

▼市営住宅 良好な住環境を確保するため、火災報知器の更新と市営時森住宅2棟の屋根塗装工事を行います。

▼地域公共交通 総合交通ネットワークの構築に向け、コミュニティバス運行システムの見直しを検討してきます。

▼道路整備 大更駅周辺環境整備事業に係る市道大更中央線などの整備を継続して行っています。

▼道路維持 橋の長寿命化対策として補修を進めるとともに、住民要望の多い生活道路の補修を行っていきます。

▼除雪対策 タイヤドーザーを購入し、各地区の実情に応じた除雪を行っていきます。

▼水道事業 小規模配水池の統合や配水連絡管敷設工事を行い、水道供給の安定に努めていきます。

▼下水道事業 公共下水道管渠整備や農業集落排水設備の延命化などを進めていきます。



28年度に導入したタイヤドーザー

▼防災教育や訓練 関係機関と連携し、学校や地域での防災教育や訓練を行い、地域防災力の向上に努めていきます。

▼防災対策 改訂した岩手山火山防災マップを周知し、万全を期すよう努めていきます。

▼空家等対策 「八幡平市における空家等の対策に関する協定」により、空き家の未然防止、流通、活用など、総合的な対策を進めていきます。

▼交通安全 交通死亡事故や人身事故が昨年より増加したことから、関係機関・団体と



昨年度に行われた市防災訓練

▼ふるさと応援寄付金 寄付者の共感がより得られるように寄付金の使い道を工夫し、活用状況や成果を積極的に発信してきます。

▼市ウェブサイト ウェブサイトのリニューアルを行います。

▼公共施設の管理 計画的な施設の解体撤去や適切な維持管理、利活用を検討してきます。

▼協働による行政経営 市民と行政の協働を基本としつつ、職員一人一人の経営意識を高め、持続可能な行政経営の実現に努めていきます。

⑦スポーツ活動の推進

▼体育振興 関係団体と連携し、スポーツ選手の育成や支援に努めていきます。

4. 自然をめぐり、景観にすぐれたまちづくり

本市の風光明媚な自然環境を保全するとともに、再生可能エネルギーの積極的な活用を図り、自然を愛し、守る豊かな心が培われたまちを目指するため、2つの施策に取り組んでいきます。

①自然環境、生活環境の保全

▼環境衛生 安心で快適な生活環境の確保や地球温暖化対策に取り組んでいきます。

▼清掃センター 31年1月に第2期清掃センター等管理運営委託事業を民間事業者と契約締結し、引き続き安全な管理運営に努めていきます。

②自然エネルギーの有効活用

▼再生可能エネルギー 松尾八幡平地熱発電所で発電した電気は、市内の公共施設や民間事業者に供給され、電力の地産地消を図っています。



1月から本格運転を開始した松尾八幡平地熱発電所